

インフォメーション・コーナー

歴認研活動履歴（平成30年3月以降）

平成30年（2018）

7月23～27日 徴用工問題・慰安婦問題に関する訪韓調査（韓国博物館を中心に）
（参加者：西岡力・高橋史朗・島田洋一・勝岡寛次・長谷亮介）

【訪問日時・訪問場所】

7月23日：大韓民国歴史博物館・日本大使館前慰安婦像・龍山駅前徴用工像（ソウル）
24日：ナムムの家・日本軍「慰安婦」歴史館（京畿道広州）・戦争博物館（ソウル）
25日：独立記念館（忠清南道天安）・釜山領事館前慰安婦像・領事館表敬訪問
26日：国立日帝強制動員歴史館（釜山）

8月30日～9月5日 朝鮮人慰安婦虐殺映像に関する米国立公文書館調査（高橋史朗）

定期研究会開催記録（第30回～第35回）

回	日時	講師(肩書)	テーマ
30	30.3.23	Jason Morgan (麗澤大学外国語学部助教)	Historical Awareness in American Universities today
		下川 正晴(ジャーナリスト)	『忘却の引揚げ史—二日市保養所』を書いて (DVD上映)
31	30.4.27	小島 新一(産経新聞大阪正論室長)	対日歴史戦の形成過程についての一考察
		長谷 亮一(歴認研会員)	日本の学界における南京事件論争史
32	30.5.25	西岡 力(麗澤大学客員教授)	徴用工像騒ぎと国立日帝強制動員歴史館
		緒賀 浩正(明星大学大学院)	最近の教育勅語問題に関する情勢報告
33	30.6.22	Kevin Doak(ジョージタウン大学教授)	最近のアメリカの知的状況について
		花田 太平(麗澤大学助教)	自己への疑念：戦後アメリカと民主主義
34	30.7.27	東中野 修道	南京占領と証言の問題
		西岡 力(麗澤大学客員教授)	韓国徴用工問題調査報告
35	30.8.24	勝岡 寛次 (明星大学戦後教育史研究センター)	徴用工(強制連行)問題の起源
		江崎 道朗(評論家)	ポーランドの戦争博物館について
		西岡 力	韓国徴用工問題調査報告2(中間報告)